

## 平成30年12月議会のご報告

寒川町議会では平成30年12月会議が11月27日から12月14日までの日程にて開催されました。12月会議においては「寒川町町税条例などの一部改正」や「平成30年度補正予算案」など、合わせて16議案と1意見書案が審査され、全ての案件が原案通りの採択となりました。あわせて一般質問も行われ、私、小泉しゅうすけは「就職氷河期世代の問題と解決について」として質問を行いました。

## 就職氷河期世代の問題と解決について

1993年から2005年までの13年間、日本ではそれまでのバブル景気が崩壊し、就職氷河期と呼ばれる時代が続きました。この時代は職を求める人に対して企業からの求人の数は求職数を下回る、有効求人倍率が1以下という状況が続きました。その影響を最も受けたのは、その時期に学校を卒業するなどして職を求めた当時の若者たちでした。同時に第二次ベビーブーム世代とも重なり人数も多かった当時の若者ですが、企業による求人が大幅に減少したために就職活動も困難を極め、何百社と就職試験を受けたが採用されずに派遣やフリーターという非正規職にしか就けなかった人々、もしくは正社員になったとしても入った職場がブラック企業であった人々など、多くの厳しい状況が発生しました。

その若者たちは現在、およそ35歳から48歳となり、本来ならば社会で活躍し、結婚をして子育てをする時期ですが、氷河期において就職がうまくいかなかった多くの人々は、今なお困難な人生を歩んでいます。その事実は統計を見ても明らかであり、厚生労働省から公表されている賃金構造基本統計調査で、直近の平成29年と平成22年のものから、大卒以上の男性のデータで比較した表がこちらです。

このデータからは、景気回復や人手不足のために全体的に給与が上がり、特に若年層の給与が上がっているのに対し、35歳～49歳の就職氷河期世代の給与は下がっていることが読み取れます。このデータを見ますと、氷河期世代のかなりの人々において、未だに非正規雇用など不安定な雇用を強いられ、結果として

	平成29年	平成22年	増減
全年齢平均	397.7	395.3	2.4
20～24歳	227.0	218.2	8.8
25～29歳	263.9	252.8	11.1
30～34歳	321.3	309.9	11.4
35～39歳	370.4	373.5	▲3.1
40～44歳	426.7	454.3	▲27.6
45～49歳	486.4	507.7	▲21.3
50～54歳	533.3	523.8	9.5
55～59歳	513.1	512.4	0.7

賃金構造基本統計調査より賃金(千円・月額)

給与の平均額が下がることになったことが推測されます。

私もそうした就職氷河期世代の一人です。同世代の知人や友人たちの中には、就職活動の時期に正社員になれなかったために、今なお非正規雇用の中で不安定な生活を強いられている人や、もしくはブラック企業などで精神的にも苦しみを受け退職を余儀なくされ、いわゆる引きこもりという状況になっている人も多くいます。ですが現在、日本の人口は減少する時代ともなり、町内の企業からも人手が足りないという声もしばしば耳にするようになりました。人手不足と共に新卒採用における採用は以前と比べるとかなり改善してきております。ですが氷河期世代の中で困難な人生を歩んでる人々の状況はなかなか改善していません。

そこで私のこの度の一般質問では、就職氷河期世代の問題と解決についてと題し、**困難な人生を歩んでいる、いわゆるロスジェネレーションの人々に寄り添える政治を目指し**、次の観点で質問をさせていただきました。



真山勇一参議院議員による  
勉強会にて(11月26日・横浜)

## 1・労働力不足と就職氷河期世代の雇用のミスマッチの解決

近年、日本全国で労働力不足の声が上がっており、国会でも外国人労働者の受け入れの拡大のための法案が成立するなどの動きもありました。私は**労働力が不足しているのならば、まずは先に非正規雇用を強いられている人々を正規雇用に変えていく事を進めるべき**と、町にその取り組みについて問い、雇用環境の向上を訴えました。非正規雇用が続いた人々を正規雇用にしていくためには、キャリアアップ教育も重要です。町からは商工会によるパソコン教室や国や県によるセミナーなどを広報を用いて周知していく事、さらに就職面談会の開催なども行っているとの回答がありました。

## 2・町としての就職氷河期世代の雇用促進

就職氷河期世代の人々の雇用を考えますと、**民間での雇用が難しければ公的な雇用を進めることも考えられるべき**です。歴史を振り返っても、不景気の時に景気対策として公的な仕事を増やすことも幾度と行われ、効果を発揮してきたこともあります。そこで私は町役場などでの雇用が可能であるのか、さらに町で非正規雇用となっている人々を正規雇用に転換することも訴えました。町からは採用試験における年齢制限もあり困難であるとの回答がありましたが、例えば技術職などに関しては年齢制限を緩和していくことも考えられるべきと訴えました。

### 3・就職氷河期世代に対する福祉的な支援制度

就職氷河期世代の人々の中には、雇用環境の悪化など困難な状況から心の病を負うなどして、職に就くことも出来ず引きこもりの状態にある方も多くなっています。厚生労働省の調査によると、39歳までで引きこもりの状態にある方は日本全国で約20万人ほどいると発表されております。しかし40歳以上の方に関しては公的な統計もなく、民間団体の推計では十数万人はいるとも言われていますが、実態は未だに不明なままです。そこで最も身近な行政機関である町として、町内での引きこもりの人々の実態調査と、その人々への支援体制の強化を行うべきと訴えました。

議会が終わりましてから、町の方からも周知をしているとの話がありました「シニア・ジョブスタイル・かながわ」(<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/hz2/cnt/f70015/>)及び「かながわ若者就職支援センター」(<https://www.kanagawa-wakamono.jp/>)【共に横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル5階】を訪問し、相談員の方からお話しを伺ってきました。こちらの施設は通常のハローワーク、さらに同じビル内にある横浜新卒応援ハローワークとも連動した運営がされており、専門の相談員の方も常駐し、将来に悩みを抱えている方に対するカウンセリングや各種セミナーも丁寧に行われております。『近年では労働力不足の中で雇用も改善はしているが、自分に自信が持てない方や困難を抱えている方が多くなっている。場合によっては福祉とも繋ぎながら、一人一人に寄り添って解決していく』とのお話も伺いました。

私にとっても就職氷河期世代の人々の困難は同世代のことでもあり他人事ではありません。そしてこの世の困難な人々を切り捨てる社会であってはならないと強く思います。全ての人々に対して温かく、共に寄り添える政治を目指し、私、小泉しゅうすけはこれからも頑張ります。



シニア・ジョブスタイル・かながわ等の案内パンフレット

### 小学校の教室へのエアコンの早期設置が決まりました。



寒川町議会では平成30年11月会議が11月14日に開催されました。これに先だって開かれた9月の議会では、私は、先の当議会報告でもお伝えいたしましたように、一般質問にて「学校へのエアコン設置の前倒し」を求めておりました。そして11月会議では政府からの「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」の交付が決まったことを受け、寒川町においても一般会計補正予算が提案され、来年度の一学期中に小学校全5

## 湘南寒川プロフェッショナル手作り市 隔月で開催中♪

地域に密着した作家たちのハンドメイド作品を販売します。

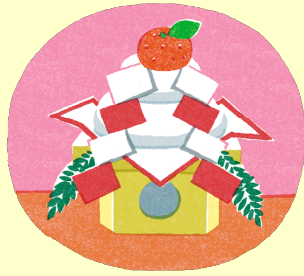
奇数月の最終日曜日に開催。次回は1月27日、その次は3月31日予定です。10～16時開場。

会場：南開喰島BLOOM(寒川中学校近く 産業道路沿い) 主催：かとれあ会

【広告】

校においてエアコンが前倒しで設置される事が可決されました。

これまでも私は教職員に対するパソコンの配布を早期に100%にすることなど、教育環境の充実を強く求めてきました。電子学習教材のeライブラリによる家庭学習での活用が進むなど、教育環境も目まぐるしく変わりつつある中、今後とも私、小泉しゅうすけは子ども達の未来のため、議会でも積極的に提案を行ってまいります。



寒川町議会議員 小泉しゅうすけ

タウンミーティングのお知らせ

2019年2月10日(日曜)13時～15時

寒川町南部公民館 プレイルーム



寒川町議会議員の小泉しゅうすけです。初当選以降、およそ2年が経ちましたが、これまで町民の皆様の声を議会の場で伝え、町政に反映していくため、一般質問や委員会の質疑などで様々な取り組みを行ってまいりました。

この度、寒川町南部公民館で2月10日(日)13時より開催しますタウンミーティングでは、小泉しゅうすけからは議会のご報告を、そしてご来場いただいた皆様方からは『こんな取り組みをしてほしい』『町にこんなことをして欲しい』などお気軽にご意見を頂ければと思います。本会終了後、3月議会も始まります。これまでも頂いたご意見は議会でも積極的に反映させて頂きました。これからも引き続き、皆様の声を議会に届けていきたいと思えます。ぜひご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 議会報告定期配布のお知らせ

現在、当議会報告は町内のおよそ半数の世帯に毎号、配布地域を変えつつお配りしております。なかなか全世帯にお届けすることは難しいことから、ご希望される方には発行ごとに定期的にお届けいたします。詳しくは小泉しゅうすけまでご連絡下さい。

### 小泉しゅうすけ(秀輔)プロフィール

1978年8月2日生まれ 現在40歳。IT系大手メーカー勤務/ゲームライターを経て、衆議院議員阿部知子の秘書に着任。2017年の町議選に当選し、寒川町町議として1期目。立憲民主党党员。会派・大志会所属。議会では建設経済常任委員・総務常任委員。また町の青少年問題協議会委員。地域では寒川神社総代・寒川消防団員・寒川ライオンズクラブ会員・寒川青年会議所シニアクラブ会員としても活動中。



小泉しゅうすけとあたたかな寒川を作る会 2019年1月発行(討議資料)

〒253-0106 寒川町宮山1268-4クレイン栗原D号室

Tel: 080-7016-4802 Mail: koizumi@samukawa.info Web: <http://koizumi.samukawa.info/>